

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅵ （地域アセスメント）	3年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	原澤 由美子 ※
授 業 概 要					
<p>地域アセスメント＜地域診断＞は、地域の人々の生活と健康に関わる情報を多角的・継続的に分析し、地域全体の健康課題とその背景を明らかにすることにより、地域の特性に合った公衆衛生看護活動を行う基盤となる。</p> <p>ここでは地域アセスメント＜地域診断＞の基本的な考え方や方法を学習するとともに既存資料を用いてその技法を体験的に学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 地域アセスメント＜地域診断＞の目的と基本的な考え方を説明する。</p> <p>2. 地域アセスメント＜地域診断＞で用いる理論の概要を説明する。</p> <p>3. 地域アセスメント＜地域診断＞の過程を説明する。</p> <p>4. 既存資料を用いて情報収集、分析、アセスメントができる。</p>					
実務経験のある教員					
<p>原澤 由美子：</p> <p>市町村での現場経験を踏まえ、地域アセスメント＜地域診断＞の基本的な考え方と展開過程について概説する。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<p>1. 地域アセスメント＜地域診断＞の目的、基本的な考え方</p> <p>2. 地域アセスメント＜地域診断＞に用いる理論・モデル</p> <p>3. 地域アセスメント＜地域診断＞の過程</p> <p>1) 情報収集</p> <p>2) 分析</p> <p>3) アセスメント</p> <p>4) 健康課題の特定・優先順位の考え方</p> <p>5) 地域アセスメントの評価</p> <p>4. 地域アセスメント＜地域診断＞演習</p> <p>1) 既存資料を用いて情報収集、分析、アセスメント</p> <p>2) 発表・意見交換</p>				原澤 由美子 ※
学 習 方 法					
講義 演習					
評 価 方 法					
<p>科目修了試験 60%</p> <p>演習 40%: 地域アセスメント＜地域診断＞演習の達成状況や演習への取り組み姿勢等について演習評価表を用いて評価する。</p>					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕</p> <p>公衆衛生看護学.jp 荒賀直子 インターメディカル</p> <p>厚生の指標 国民衛生の動向 (財)厚生統計協会</p> <p>公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 メディックメディア</p> <p>〔参考書〕</p> <p>標準保健師講座別巻1 保健医療福祉行政論 藤内修二編 医学書院</p>					